



平成 19 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ プ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鉢 嶺 登
(コ ー ド 2 3 8 9)
担 当 者
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 C F O 小 林 正 樹
電 話 0 3 - 6 2 6 8 - 3 8 0 0

平成19年12月期 中間期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年 4 月17日に公表致しました平成19年12月期中間期（平成19年 1 月 1 日～平成19年 6 月30日）の業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせ致します。

記

1．中間期業績予想の修正（平成19年 1 月 1 日～平成19年 6 月30日）

（ 1 ）連結業績予想

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（ A ） （平成19年 4 月17日発表）	17,000	380	290
今回修正予想（ B ）	17,098	685	463
増減額（ B - A ）	98	305	173
増減率（ % ）	0.6	80.3	59.7
（ご参考） 前期実績（平成18年12月期中間期）	13,828	438	280

（ 2 ）個別業績予想

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（ A ） （平成18年 2 月21日発表）	14,500	420	350
今回修正予想（ B ）	14,432	474	360
増減額（ B - A ）	68	54	10
増減率（ % ）	0.5	12.9	2.9
（ご参考） 前期実績（平成18年12月期中間期）	12,152	461	248

2. 修正の理由

平成19年12月期中間期は、売上高はほぼ予想値どおりでしたが、経常利益および中間純利益は予想を上回る結果となりました。

主な要因は、第一に単体の広告代理事業において、利益率の高い媒体の取扱高が拡大し、粗利益率が想定より高く推移したこと、第二に、第1四半期より利益貢献が本格化した連結子会社5社の利益が、想定より上振れたことによるものです。具体的には、株式会社ALBAが雑誌事業に経営資源を再フォーカスしたことで確実に利益を計上できる体制となったこと、株式会社クラシファイドが不動産クラシファイド広告販売事業において順調に掲載物件数を伸ばせたことなどが挙げられます。

また、平成19年4月17日付で発表いたしましたとおり、第2四半期にスタイライフ株式会社の保有株式の一部を売却したことにより、株式売却益として特別利益約190百万円を計上いたしました。

< 今後の見通し >

平成19年12月期通期の業績は、主力の広告代理事業において検索リスティング広告が成長を継続するなど、順調に推移していると認識しておりますが、インターネット広告市場は昨年も特定業種の広告手控えが発生したなど変化要因が大きいため、現時点では前回発表の業績予想を修正しておりません。

< ご参考 > 前期通期実績と当期通期業績予想

【連結】

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
平成18年12月期通期実績	29,384	658	309
平成19年12月期通期業績予想	37,500	1,200	710

【個別】

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
平成18年12月期通期実績	25,521	781	595
平成19年12月期通期業績予想	32,000	1,100	710

以上